

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	福祉:社会福祉基礎(選択)		単位数 2 単位	履修年次 2 年次
目標	社会福祉の理念と意義を理解し、社会構造やライフスタイルの変化をふまえた新しい福祉社会を実践するために、歴史を学び、現代社会における社会福祉の意義や役割を考える力を身に付ける。また、対人援助の技術や多様な社会的支援について理解し、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決する力を身に付ける。			
使用教材	教科書「実教出版 社会福祉基礎」			
評価の観点・評価基準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	社会福祉の実践において必要な知識について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する諸問題を発見し、援助者としての倫理観をふまえて、課題を解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に取り組む態度を身に付けている。	
評価方法	評価の観点・評価基準をふまえ、中間・期末考査、課題等(プリント・宿題)の提出状況の他、日々の授業態度等を含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	「生活と福祉」や「高齢者福祉と介護保険制度」について学習する。		・日本の高齢化の実態と課題について理解する。 ・介護保険制度の目的と内容、高齢者の在宅サービス、地域密着型サービス、介護保険施設、老人福祉施設と高齢者向け住宅等の概要について理解し、今後のあり方について考察する能力を身に付ける。	
2	「社会福祉の理念」や「日本における社会福祉」、「障がい者福祉」について学習する。		・福祉の基礎となる社会福祉の理念、日本国憲法や地域社会と社会福祉との関わりについて理解する。 ・日本の社会福祉の歴史について理解する。 ・障がい者福祉について正しい知識を身に付け、共生社会のあり方について理解する。	
3	「生活支援のための公的扶助」や「国民の生活を支える社会保険制度」、「人間関係とコミュニケーション」、「地域福祉の進展と多様な社会的支援制度」について学習する。		・生活保護制度、日本の社会保険制度について正しい知識を身に付ける。 ・対人支援におけるコミュニケーションの役割を理解し、実践できる能力を身に付ける。 ・日常生活自立支援事業や成年後見制度について理解する。	
学習上の留意点	介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)修了証取得に必要。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	福祉:介護福祉基礎(選択)		単位数 2 単位	履修年次 2 年次
目標	介護職にとって大切な尊厳の保持や自立支援等、介護を行う上での基本的な考え方を習得する。また、介護を必要とする人に対して、自立支援の観点に基づき自己実現が達成されるよう適切な介護福祉サービスを提供できる能力と態度を身に付ける。			
使用教材	教科書「実教出版 介護福祉基礎」			
評価の観点・評価基準	(知識・技能)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する介護技術を身に付けている。	介護に関する諸問題を発見し、介護者としての倫理観をふまえて、課題を解決する力を身に付けている。	より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に取り組む態度を身に付けている。	
評価方法	評価の観点・評価基準をふまえ、中間・期末考査、課題等(プリント・宿題)の提出状況の他、日々の授業や実習態度等を含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	「介護を必要とする人の生活を支える支援」について学習する。		・観察のポイント、コミュニケーションの方法、介護技術の基本を身に付ける。 ・移動や食事の意義や目的を理解し、具体的な支援の方法を身に付ける。	
2	「介護を必要とする人の理解と支援」や、「障がい者の生活と支援」について学習する。		・介護を必要とする人や高齢者の生活環境や心身の変化に気づき、介護予防のためどのような支援が出来るか考え、実践する能力を身に付ける。 ・障がい者の生活上の困難と具体的な支援の方法について理解する。	
3	「感染対策」について学習する。		・感染症の仕組みを理解し、法律に基づいた対策をとることができるよう、実践力を身に付ける。 ・利用者の安全で安心な暮らしを守るため、感染症の原因や感染経路、症状について理解し、基本的な予防策を身に付ける。	
学習上の留意点	介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)修了証取得に必要。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	福祉:生活支援技術(選択)		単位数 4 単位	履修年次 3 年次
目標	福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な資質・能力を身に付ける。			
使用教材	教科書「実教出版 生活支援技術」			
評価の観点・評価規準	(知識・技術)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	自立生活の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、中間・期末考查、提出物(ノート・課題等)、授業態度、授業に必要な準備物がそろっているか(忘れ物)を含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	「生活支援の理解」や「生活支援に向けたアセスメント」、「居住環境の整備」、「身じたくの介護」、「移動の介護」、「食事の介護」について学習する。		・生活支援のあり方や、介護過程におけるアセスメントの方法を理解する。 ・居住環境の整備、身じたくの介護、移動の介護、食事の介護に関する意義や目的を理解し、基礎的な知識と技術や、望ましい支援のあり方を考える能力について身に付ける。	
2	「入浴・清潔保持の介護」や「排せつの介護」、「睡眠の介護」、「レクリエーションにおける介護技術」、「終末期・緊急時の介護」について学習する。		・入浴・清潔保持の介護、排せつの介護、睡眠の介護、レクリエーションにおける介護技術、終末期・緊急時の介護に関する意義や目的を理解し、基礎的な知識と技術や、望ましい支援のあり方を考える能力を身に付ける。	
3	「生活支援技術」に関する総合演習を行う。		・生活支援技術を必要とする具体的な場面において、適切に対応する能力を身に付ける。	
学習上の留意点	介護職員初任者研修修了証明書取得に必要。			

科目の年間授業計画(シラバス)

教科・科目等	福祉:こころとからだの理解(選択)		単位数 2 単位	履修年次 3 年次
目標	福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、介護を実践するための人間の理解に必要な資質・能力を身に付ける。			
使用教材	教科書「実教出版 こころとからだの理解」			
評価の観点・評価規準	(知識・技術)	(思考・判断・表現)	(主体的に学習に取り組む態度)	
	自立生活の支援に必要なこころとからだについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けようとしている。	
評価方法	評価の観点・評価規準をふまえ、中間・期末考査、提出物(ノート・課題等)、授業態度、授業に必要な準備物がそろっているか(忘れ物)を含め、総合的に評価する。			
学期	学習内容		学習のねらい	
1	「こころのしくみの理解」や「からだのしくみの基礎的理解」、「生活動作に関するこころとからだのしくみの理解」、「終末期に関するこころとからだのしくみ」、「発達とは」について学習する。		・介護従事者として必要な、基本的な心のしくみやからだのしくみについて学習する。 ・生活動作に対して安全、安楽に支援するために必要な心身の構造を理解する。 ・終末期や緊急時に起こる、心身の様々な変化とその対応について理解する。	
2	「老年期の理解と日常生活」や「高齢者と健康」、「認知症をとりまく環境」、「認知症の基礎的理解」、「認知症に伴う心身の変化と日常生活」、「認知症と地域サポート」について学習する。		・老化や加齢、高齢者に多い病気の特徴を理解する。 ・認知症の代表的な症状について学習し、対応の仕方や留意点について理解する。	
3	「障がいの基礎的理解」や「生活機能障がいの理解」、「障がいに伴う心身の変化と日常生活」、「障がいと地域生活支援」について学習する。		・障がいとはどのようなことか、障がいに伴う様々な影響や個人差について理解する。 ・介護者として、障がいを持つ人のことや、適切な支援をすることの必要性について理解する。	
学習上の留意点	介護職員初任者研修修了証明書取得に必要。			